

国際会議報告



第 17 回国際マイクロ波高周波 加熱会議報告

Report on the 17th International Conference on Microwave and High Frequency Heating

東京工業大学・物質理工学院・特任教授 藤井知
〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1,
e-mail: fujii.s.ap@m.titech.ac.jp

スペインのバレンシアにおいて、9月9日～12日の間、第17回マイクロ波高周波加熱会議（17th International Conference on Microwave and High Frequency Heating）が Association of Microwave Power in Europe for Research and Education (AMPERE) の主催によって開催されました。会議は、バレンシア工科大学のキャンパス内のサイエンスパークのイノベーションポリテクニクシティ（CPI）にて開催されました（図1）。バレンシア・ポリテクニク大学は、1968年にバレンシア高等工科校として設立され、1971年に大学に昇格してバレンシア工科大学となった、比較的新しい学校であり、産学連携が盛んに行われています。また、学会が開催された建物は、ブルーやピンクなどのガラスで覆われており、ヨーロッパのモダンなデザインを感じさせるものであった。会期初日はモデリングワークショップとショートコースがあり、それぞれ24名、25名と参加者がありました。加えて、Conference Chairであるバレンシア工科大の Prof. José M. Catalá-Civera の研究室見学があり、直近のIEEE学会誌で発表された高温誘電率測定装置について詳しく説明を聞かせて頂きました。（図2）⁽¹⁾

本装置の構想から実現まで約20年近くをかけたそうです。3日間に渡る会議では、ヨーロッパ、アメリカ、アジア等の32か国（4大陸を含む）



図1 国際会議場（The Polytechnic City of Innovation）

から 243 人の参加者があり、RF・マイクロ波エネルギー応用技術に関する 179 件(プレナリー11 件、口頭発表 138 件、ポスター30 件)の論文が採録されたことが報告されました。日本からは JEMEA メンバーを中心に多くの参加者がありました。発表件数が多いこともあり、一般演題は 3 パラレルセッションで実施され、活発な議論がされました。企業展示に関しては 12 社からの展示と 7 社のスポンサーがありました。企業展示では、シミュレーションソフトやマイクロ波電力増幅器を扱う関連企業から半導体パワーアンプモジュールやその周辺素子などの展示がありました。会期中、ソーシャルイベントも毎日のように行われ、参加者が楽しめるイベントが盛り沢山であり、学会主催者のホスピタリティを感じさせるものでした。Gala Dinner は、会議最終日の閉会式後のオセアノグラフィック(水族館)で実施され、Ampere Medal 等の受賞発表(表 1、日本人受賞者がなかったのは誠に残念でした)と、受賞式とともに参加者同士の懇親を深め、4 日間の会議が盛大の内に閉会致しました(図 3)。会期中のプログラムは URL:<http://ampere2019.com/program>、出展企業は URL:<http://ampere2019.com/exhibitors> にそれぞれ、掲載されております。

次回、第 18 回マイクロ波高周波加熱会議は、2021 年 9 月 13 日～16 日スウェーデンのイエーテボリにて開催されます。既にホームページもあますので、奮ってご参加ください。

URL:<http://www.ampere2021.com>

表 1 受賞と受賞者

Award	Winner	Affiliation
Ricky Metaxas Young Researched	Jose D. Gutierrez-Cano	Universitat Politècnica de Valencia
Ampere Best Student Presentation	Dominik Neumaier	Karlsruhe Institute of Technology(KIT)
Ampere Medal	Marilena Radoiu Robert Schiffmann	Radiant Technologies Inc R.F.Schiffmann Associates

参考文献

[1] José M. Catalá-Civera, et al, IEEE Transactions on Microwave Theory and Techniques, vol. 63, no. 9, 2905-2914, 2015



図 2 Prof. José M. Catalá-Civera
らが開発した高温誘電率測定装置⁽¹⁾



図 3 バンケット会場のオセアノグラフィックと日本からの参加者